

遭難事故者の基礎データ と事故の概要 (1 / 5)

以下の項目から該当するものはすべて、あるいは記入で回答して下さい。

1. 記入者氏名	フリガナ [] [] 姓 「 」 名 「 」
2. 記入日	平成 年 月 日
3. 記入者連絡先	(Tel - -)

1. 事故者氏名	フリガナ [] [] 姓 「 」 名 「 」
2. 事故発生の 日時	平成 年 月 日 時 分ごろ発生
3. 性別	a.男 b.女
4. 年齢	「 歳」
5. 所属山岳会	「 」無所属の場合はなし
6. 医師による 診断名	「 」
7. 事故の結果	a.死亡、b.障害を残して生存、c.障害を残さず生存
8. 医療機関名	「 」
9. 治療見込み	a.要入院、b.要通院、c.要手術
10. 治療の 見込み期間	「 」 (a 日、b.週、c.月)
11. 発生場所 現場見取り図は 次ページ記入	山域、山名、ルート名、場所名などを記述する。 記入 「 」
12. 捜索費用	a.要した b.要しなかった
13. 救助隊人数	分かれば記入 「 人」
14. ヘリコプター の出動と時間	a.あり b.なし 分かれば記入 「約 時間」

15. 事故の区別	
外傷の種類	a. 打撲、b. 裂傷、c. 大出血、d. 神経障害、e. 脱臼、f. 骨折
.非外傷	a. 内科疾患[呼吸器系、循環器系、消化器系、泌尿器系、感覚器系 神経系、感染症、アレルギー] b. 環境要因[急性高山病、肺水腫、脳浮腫、低体温症（凍死）、凍傷 日射病、その他「 」]

以下の表から受傷したすべての個所（部位）を選んで 印してください

頭と顔

左側	1.前頭	3.後頭	5.ひたい	7.目	9.ほほ	11.耳	13.あご
右側	2.前頭	4.後頭	6.ひたい	8.目	10.ほほ	12.耳	14.あご

頭と顔

15.頭頂部	16.鼻	17.口	18.歯
--------	------	------	------

首～尻まで

左側	19.首	21.胸	23.腹	25.肩	27.背中	29.腰	31.臀部（尻）
右側	20.首	22.胸	24.腹	26.肩	28.背中	30.腰	32.臀部（尻）

骨盤周辺

左側	33.骨盤	35.股関節
右側	34.骨盤	36.股関節

脊椎

37.頸椎(ケツイ)	38.胸椎(キョツイ)	39.腰椎(ヨツイ)
------------	-------------	------------

うで

左側	40.上腕	42.肘	44.前腕	46.手首	48.手のひら	50.手の甲
右側	41.上腕	43.肘	45.前腕	47.手首	49.手のひら	51.手の甲

手の指

左側	52.親指	54.人差し指	56.中指	58.薬指	60.小指
右側	53.親指	55.人差し指	57.中指	59.薬指	61.小指

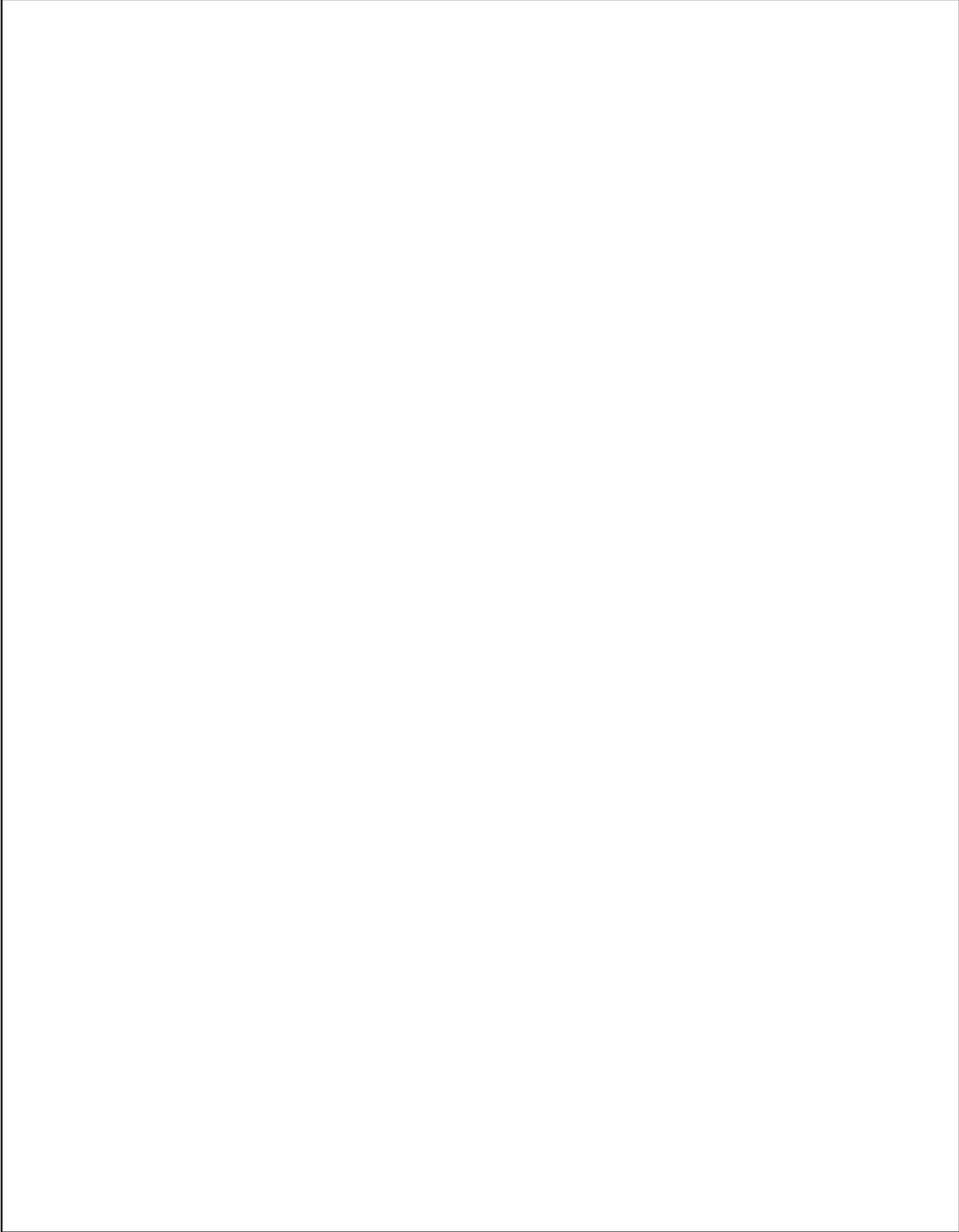
足

左側	62.大腿	64.ひざ	66.下腿	68.足首	70.足	72.足裏	74.足の甲
右側	63.大腿	65.ひざ	67.下腿	69.足首	71.足	73.足裏	75.足の甲

足の指

左側	76.親指	78.第2指	80.第3指	82.第4指	84.小指
右側	77.親指	79.第2指	81.第3指	83.第4指	85.小指

以下の枠の中に遭難場所の簡単な見取り図を書いてください。

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for the user to draw a simple map of the disaster site. The box is oriented vertically and occupies most of the page's height.

遭難事故者の基礎データ (2 / 5)

遭難事故者の基本的な能力として基礎体力・能力、装備、登山計画などについて調査します。以下の項目から**該当するものはすべて**、**あるいは記入**で回答して下さい。

1. 登山パーティ数とその構成	パーティ人数「 人」 うち「男 人」「女 人」
2. 役割	a.リーダー、b.サブリーダー、c.メンバー、d.役割を決めず
3. 登山経験	登山を始めて「 年」 クライミング「 年」 冬山経験「 年」
4. 登山技術レベル	主に、クライミング、冬山に登る方で、自分が経験した最もハードな登山ルート、あるいはクライミングのグレードを書いてください。
登山（無雪期）	記入「 」
クライミング	記入「 」
冬山	記入「 」
5. 基礎体力	山行に支障をきたさない範囲で予想される
最大荷重	おおよそ背負える最大荷重「 kg」
平静時脈拍数	脈拍数「 拍/分」
視力	普段、山で地図を見る場合に、細かい記号まで a. 楽に読める、 b. 目を凝らすと読める、 c. 全く読めない
	視力「右 」「左 」
聴覚	a. 問題なく聞こえる、 b. 少し聞き取りづらい、 c. 全く聞こえないときがある
現在持っている疾患（病気）	a. 現在治療中、 b. 放置している 記入「 」
6. 山行目的 目的 (必ずと、共に 回答して下さい)	a. 山スキー、 b. アルパインクライミング、 c. 沢登り、 d. アイスクライミング、 e. フリークライミング f. 山歩き、 g. 縦走、 h. 観光[山野、草花、紅葉等の観賞]、 i. 山菜採り[野草、きのこ]、 j. 溪流釣り、 k. 写真撮影、 l. 山岳信仰、 m. 狩猟、 n. キャンピング o. 仕事[森林伐採、下草刈り、調査研究等]、 p. その他「 」
山行準備のためのイメージ	a. 夏山登山として準備 b. 冬山登山として準備 c. 近くの山に行く d. 軽い日帰り登山 d. 何も考えない

出発・入山から事故発生の直前まで（ 3 / 5 ）

自宅を出発し、入山後、山行中に事故に遭遇するまで、以下の項目から該当するものはすべてで選択するか、記述してください。

1 . 利用交通機関	a.鉄道、b.バス、c.自家用車、d.タクシー、 e.ケーブルカー、 f.リフト、g.ロープウェイ、h.船 ----- 自宅から入山までの経過時間「約 時間」
2 . 事故前日までの 睡眠状態	a.十分睡眠、b. 普通、c.睡眠不足
疲労状態	a.非常に疲れている、b.少し疲れている、c.普通、d.快調
3 . 事故発生まで に生じた問題	a.悪天候[ガス、積雪、風雨]、b.道迷い、c. 登山道[荒廃、消失] d.器具[破損、携帯の忘れ] e.交通機関の問題 f.本人を含むメンバーの[不和、ケガ、体の不調、役割変更] g.予定変更[ルート変更、目的変更（例；クライミング中止など）] h.その他「 」
4 . 日程の消化状況 予定の日程を こなしていたか。	a.予定どおり、b.予定より早く到着した、c.予定より少し遅れてた、 d.予定より大幅に遅れてた、e.予定はない
予定より遅れた 場合、仕事への影 響は	a.非常に深刻、b.あまり問題はない、c.全く問題はない d.関係なし

遭難が発生した時点（４／５）

遭難が発生した段階で、その原因と背景、状況、場所について、以下の項目から**該当するものはすべて** **あるいは記入**で回答して下さい。

1. 態様 / 原因	a. 滑落、b. 転倒、c. 墜落、d. 道迷い、e. 疲労、f. 発病、g. 落石、h. 雪崩、 i. 落雷、j. 悪天候のための行動不能、k. 有毒ガス、l. 鉄砲水、m. いさかい n. 野生動物・昆虫の襲撃、o. 不明、p. その他「」
2. 天候	a. 快晴、b. 晴れ、c. 曇り、d. 雨、e. 雷雨、f. ひょう、g. あられ、h. みぞれ、 i. 雪、j. 吹雪
天候の強度	a. 風 [微風、少し強い、かなり強い風、強風] b. 雨 [にわか雨、少し強い雨、かなり強い雨、豪雨] c. 雪 [にわか雪、かなり激しく降る、大雪] d. ガス [僅かに、かなり視界が悪い、何も見えない]
気温	おおよその値に 〔_-30_-20_-10_0_10_20_30_40_(度)〕
3. 事故が発生した場所(地形)道がある場合	a. 斜面沿いの道、b. 尾根道、c. 山頂、d. 谷川に沿う沢道、e. 平坦な道 f. 岩山をぬう道、g. 岩山を削った道、h. 樹林帯、i. 湿地帯、j. 河床 k. 雪渓、l. 雪田、m. 荒れ地、n. 崩石・崩土地帯 o. 人工 [階段、板橋、吊り橋、丸太橋、作業道、林道、ドライブウエー、石畳、線路、えん堤、堤防、スキー場]
道がない場合	a. がけ地、b. 岩壁、c. 氷壁、d. 雪壁、e. 氷瀑、f. 氷河、g. 氷雪斜面、 h. 岩場斜面、i. 土石斜面、j. ガレバ、k. 雪庇、l. やぶ、m. 沢すじ、 n. 滝、o. 湿地帯、p. 河床、q. その他「」
4. 事故発生地点での登山道・岩場の状態	a. 植生 [草、枯葉、根、コケ、クマザサ、這い松、やぶ、樹林] b. 土 [泥、一般土、砂利、れき(こぶし大~)、ガレバ、腐植土] c. 岩 [固い、ぼろぼろ]、 d. 岩の形状 [スラブ、フェイス、クラック] e. 雪氷 [雪道、氷結道、土の凍結、クレバス]、 f. クサリ、 g. ハシゴ h. ロープ備え付け、 i. 水 [河原、河床、水の越流道]、 j. ガスの噴気道 k. その他「」
5. 落下物が被害者に衝突	a. 落下物 [自然落石、人為落石、人、道具などの物 その他「」] b. 雪崩 c. 山崩れ d. 土石流、 e. 岩崩れ
6. 事故斜面の斜度	a. ほぼ水平、b. 緩傾斜 (0 ~ 9度) c. やや急傾斜(10 ~ 29度) d. 急傾斜 (30 ~ 59度) e. 壁 (60度以上)
斜面の傾き方	a. 登り、b. 下り (進行方向に対する傾きです)

7. 1日の予定コースでの発生箇所	a.前半(1/4行程) b.前半(2/4行程) c.後半(3/4行程) d.後半(4/4行程)
8. 転倒・滑落事故の原因となった時の動作と環境	a.滑る、b.バランスが崩れる、c.足・膝の障害、d.足下の確認ミス e.足下が見えない、f.めまい、g.病気、h.疲労、i.足場が崩れた j.引っかかり[木の根、岩角、突起物、その他「 」] k.衝突[人、岩肌、木、その他「 」] l.ザイルに引っ張られる、m.アイゼンが外れる、n.押される o.その他「 」

9. 道具 道具破損 による事故	a.ザック、b.登山靴、c.ステッキ、d.コンロ、e.ガスタンク、f.ランプ g.アイゼン、h.カラビナ、i.ロープ、j.ハーネス、k.スリング、 l.ハーケン、m.下降器、n.確保器、o.ヘルメット、 その他「 」
道具に 関連した事故	例えば、(ザックが岩角に引っ掛かった、ザイルの岩角切断など) 記入「 」
道具の操作 技術不足事故	例えば、(ロープの結び方に問題があったなど) 記入「 」
10. ヒューマン エラー事故 心身状態	a見え(聞こえ)なかった、 b.気づかなかった、 c.忘れた d.知らなかった、 e.深く考えなかった、 f.大丈夫だと思った g.あわてた、 h.イライラしてた、 i.疲れてた j.無意識に手が動いた、 k.やりにくかった、 l.体のバランスをくずした
どこで? 何をしていた時	記入「 」
事故の内容 と問題点の指摘	記入「 」
11. 事故直前の コンディション	a.非常に疲れて動けない、 b.ひざが笑う c.ひざが痛い d.腰が痛い、 e.肩が痛い、 f.あえぐ、 g.何も考えられない h.普段と同じ、 i.非常に快調
12. 道迷い	どの場所で迷ったのか[a.分かる、 b.分からない] その後、道迷いに[c.気づいた、 d.気づかず]、元の道まで[e.引き返した、 f.引き返せなかった、 g.そのまま行った] 登山道に[h.復帰した、 i.復帰 できなかった]、最終的に[j.自力で下山、 k.救出された]
13. 動物・昆虫	a.熊、 b.イノシシ、 c.蛇、 d.野犬、 e.猿、 f.蜂、 g.毒虫

事故発生後、救出されるまで（ 5 / 5 ）

事故発生後、どのような処置・連絡がとられ、救出されたのか、以下の項目から**該当するものはすべて**で選んで下さい。

1 . 事故直後の意識・運動障害	a.意識【完全に失う、呼べば答える、意識あり】 b.運動【全く動けない、少しだけ動ける、助けがあれば動ける、何とか歩ける、全く問題なく動ける】 c.即死状態
2 . 事故後の運動拘束状況	a.危険な場所に落下し動けない状態、b.ロープに宙吊り、 c.雪崩・崖崩れで生き埋め、d.落下物により拘束される、 e.すき間などに挟まれる f.その他「 」
3 . 事故の発見連絡 事故発見者	a.同行家族、b.パーティ仲間、c.レスキュー、d.一般登山者、 e.地元の人、f.留守家族・仲間からの搜索願
連絡方法	a.携帯電話、b.無線、c.一般電話、d.歩いて[家族、仲間、一般登山者]
連絡先	a.警察、b.消防、c.山岳会、d.近くの登山パーティ、e.家族 f.その他「 」
連絡時間 あるいは日時	事故後、レスキュー（警察・消防・山岳会など）に連絡が入るまでの経過時間「 時間」 あるいは、連絡が入った時刻「 日 時ごろ」
4 . 事故後の処置 応急処置者	a.遭難者本人、b.パーティ仲間、c.家族、d.一般登山者、 e.レスキュー、f.医療関係者、g.地元の人、 h.処置を施さず
処置法	a.止血、b.消毒、c.添え木あて[手、足、首、胸]、 d.人工蘇生[人工呼吸、心臓マッサージ]、e.体位変換、f.洗浄、 g.携帯薬の服用、h.注射、i.冷やす、j.暖める、k.酸素吸入 l.その他「 」
5 . レスキューの到着時間	事故後、レスキューが遭難現場に到着するまでの時間 「約 時間 」
6 . 救出時間	事故後、救出（下山）されるまで、おおよその時間 「約 時間 」
7 . 救出手段	a.ヘリコプター、b.背負われて、c.脇を支えられて、d.自分で歩いて
8 . 事故に要した費用の予測	概算額（既に分かっている場合その額、分からない場合は不明） 「 円」